

科目コード	授業科目名	単位数・学期	受講年次	授業区分	担当教員名
11033	言語学 A	2単位 前期	1~4	講義	波平 八郎

■テーマ

言葉はそれが使われるコンテキスト（場面・文脈）によって微妙に変化することを理解する。

■授業概要

本講義では、日本語を中心にして、言語を主に社会言語学のアプローチで概観する。社会言語学とは、言葉を使う人が所属するグループとの関係で言葉の使われ方を研究する方法である。

■到達目標

ある社会的、文化的な集団の中で、言語が微妙なバリエーションを持つということを説明できるようにする。

■授業計画・方法

- (1) 履修ガイダンス
- (2) 言語の数
- (3) 方言と言語
- (4) ダイグロッシア
- (5) 社会言語学の概観
- (6) ラボフの研究
- (7) 社会方言
- (8) 言語のバリエーション
- (9) 言語とコンテキスト
- (10) 日本語のバリエーション
- (11) コードスイッチング
- (12) スピーチ・アコモデーション
- (13) 非言語コミュニケーション
- (14) ピジンとクレオール・罰札・ドーデ「最後の授業」
- (15) 定期試験および解説・まとめ

■履修上の留意点（授業以外の学習方法を含む）

受講生は、言語についてのレポートをまとめ、授業中に発表することが求められる。

■成績評価の方法・基準

□方法 平常点（出席を含む30%）・レポート（20%）・試験（50%）を総合的に判断する。

□基準 到達目標を観点として、履修規程に定める「授業科目の成績評価基準」に則り評価する。

■教科書・参考文献等

□教科書

なし。授業中に適宜プリント等を配布する。

□参考文献（作品）

田中克彦『ことばと国家』（岩波新書）

東照二『社会言語学入門』（研究社）

その他